



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社 日本マイクロニクス 上場取引所 東  
 コード番号 6871 URL <https://www.mjc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 正義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 片山 ゆき TEL 0422-21-2665  
 管理本部副本部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	9,769	△0.4	1,974	△8.7	1,832	△17.3	1,107	△12.0
2022年12月期第1四半期	9,803	13.3	2,163	27.7	2,217	34.1	1,258	23.2

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 1,099百万円 (△29.1%) 2022年12月期第1四半期 1,550百万円 (15.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	28.71	28.71
2022年12月期第1四半期	32.71	32.65

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	51,194	37,434	73.1
2022年12月期	54,385	38,631	70.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 37,434百万円 2022年12月期 38,562百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	0.00	0.00	0.00	59.00	59.00
2023年12月期	0.00	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2023年12月期の期末配当予想は、通期連結業績予想を公表する第2四半期決算発表において、開示する予定です。

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	17,200	△12.1	1,600	△61.0	1,300	△70.8	800	△72.2	20.74
第3四半期（累計）	26,600	△11.7	2,400	△61.9	2,000	△71.9	1,200	△73.0	31.12

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年5月12日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 当社グループは、各四半期の決算発表時点で2四半期先の業績予想を開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	40,025,316株	2022年12月期	40,025,316株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	1,452,226株	2022年12月期	1,481,226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	38,563,921株	2022年12月期 1 Q	38,471,018株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2023年5月12日に当社ホームページへ掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症が経済活動に与える影響は正常化に向かっている一方で、長引く原材料高やエネルギーコスト高騰などの影響による物価高が重石となっています。また、ロシアのウクライナ侵攻に終結の兆しが見えないことに加えて、欧米におけるインフレの進行による金融引き締めなどにより、資本市場は依然として不明確な状況が続いています。

半導体市場においては、世界経済減速の影響などからのパソコンやスマートフォンの販売不振に加え、データセンター投資にも不振が拡大したことで需要が鈍化しています。また、半導体を巡っては、米国による先端半導体技術の対中輸出規制の強化により中国半導体企業の設備投資が先端向けを中心に鈍りました。

このような状況において、特にメモリ半導体の需要減速は大きく、平均販売価格の下落も相まってメモリ半導体市況は厳しい状況となりました。これを受け、メモリ半導体メーカー各社において生産調整が実施されたことで、市場の需給バランスの改善が期待されるものの、不透明な状況が継続しました。なお、車載用のアナログ半導体やマイコン、センサーなどの製品群での供給不足は長期化しており、半導体市場でのまだら模様が継続しています。

F P D市場においては、テレビ・パソコンともに需要の減速が続いており、液晶パネル需要の回復には時間がかかると見られています。

このような事業環境において、当社グループの当第1四半期連結累計期間は、メモリ半導体の生産調整等の影響を受けるものの、プローブカード事業においては概ね想定通りの売上高を計上しました。T E事業においては、想定を下回り厳しい状況となりました。他方、将来を見据えた積極的な開発を推進したことで、研究開発費を中心に販管費が前年同期比で増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,769百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益1,974百万円（前年同期比8.7%減）、経常利益1,832百万円（前年同期比17.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,107百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

#### <セグメントの状況>

(各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。)

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① プローブカード事業

半導体市場の減速感が強まるものの、当社プローブカード事業においては、前四半期の受注案件を計画どおり出荷することができました。その結果、半導体の市況感からみると比較的堅調な結果となり、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、売上高は9,471百万円（前年同期比8.1%増）、セグメント利益は2,854百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

#### ② T E事業

売上高は、半導体及びF P D市場の需要減速を受け、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、売上高は297百万円（前年同期比71.3%減）、セグメント損失は311百万円（前年同期は106百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,191百万円減少し、51,194百万円となりました。有形固定資産の「その他(純額)」に含まれる建設仮勘定が527百万円増加しましたが、現金及び預金が3,217百万円、棚卸資産が369百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,994百万円減少し、13,759百万円となりました。賞与引当金が510百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が997百万円、未払法人税等が399百万円、役員賞与引当金が360百万円、短期借入金と長期借入金を合わせた借入金が284百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,196百万円減少し、37,434百万円となりました。主に利益剰余金が1,166百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが属する半導体、FPD市場の直近の市場環境及び動向等を踏まえ、2023年2月14日に公表した2023年12月期第2四半期累計連結業績予想を見直すとともに、2023年12月期第3四半期累計連結業績予想を開示いたしました。詳細につきましては、本日(2023年5月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,552	18,335
受取手形、売掛金及び契約資産	8,291	8,506
製品	889	1,157
仕掛品	3,841	3,150
原材料及び貯蔵品	2,922	2,977
その他	889	667
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	38,347	34,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,844	3,841
機械装置及び運搬具(純額)	3,778	3,710
その他(純額)	5,557	6,046
有形固定資産合計	13,179	13,598
無形固定資産	990	968
投資その他の資産		
投資有価証券	721	799
退職給付に係る資産	110	104
その他	1,238	1,172
貸倒引当金	△202	△203
投資その他の資産合計	1,867	1,873
固定資産合計	16,038	16,440
資産合計	54,385	51,194
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,352	4,354
短期借入金	834	650
未払法人税等	1,321	922
賞与引当金	1,222	1,732
役員賞与引当金	398	38
製品保証引当金	270	295
その他	3,740	3,231
流動負債合計	13,139	11,225
固定負債		
長期借入金	439	339
退職給付に係る負債	2,104	2,127
その他	70	67
固定負債合計	2,614	2,534
負債合計	15,754	13,759

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,018	5,018
資本剰余金	6,005	6,025
利益剰余金	27,194	26,027
自己株式	△1,312	△1,286
株主資本合計	36,905	35,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	322	382
為替換算調整勘定	1,258	1,201
退職給付に係る調整累計額	76	65
その他の包括利益累計額合計	1,657	1,650
新株予約権	68	—
純資産合計	38,631	37,434
負債純資産合計	54,385	51,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	9,803	9,769
売上原価	5,438	5,059
売上総利益	4,365	4,709
販売費及び一般管理費	2,202	2,734
営業利益	2,163	1,974
営業外収益		
受取利息	4	14
受取賃貸料	13	14
受取報奨金	28	52
還付金収入	14	—
その他	9	23
営業外収益合計	71	104
営業外費用		
支払利息	1	1
支払手数料	5	5
為替差損	10	238
その他	0	1
営業外費用合計	17	246
経常利益	2,217	1,832
特別利益		
固定資産売却益	2	0
新株予約権戻入益	0	56
特別利益合計	2	57
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	0	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益	2,217	1,885
法人税、住民税及び事業税	900	707
法人税等調整額	58	71
法人税等合計	959	778
四半期純利益	1,258	1,107
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,258	1,107



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,258	1,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	59
為替換算調整勘定	426	△56
退職給付に係る調整額	△12	△10
その他の包括利益合計	291	△7
四半期包括利益	1,550	1,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,550	1,099

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	プローブ カード事業	TE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,765	1,038	9,803	—	9,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,765	1,038	9,803	—	9,803
セグメント利益	2,636	106	2,742	△579	2,163

(注) 1. セグメント利益の調整額△579百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	プローブ カード事業	TE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,471	297	9,769	—	9,769
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,471	297	9,769	—	9,769
セグメント利益又は損失 (△)	2,854	△311	2,543	△569	1,974

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△569百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。